

# 社会教育だより トピックス

## Social Education

第4次小平町社会教育  
中期計画メインテーマ

学びあう 心がつなぐ ひと・まち・歴史

目指す姿「自主自立する学び」「つながりあう学び」「人を育てる学び」「まちをつくる学び」「自分を生かす学び」

### 平成20年度 小平町社会教育推進の4大テーマ

#### 放課後子ども教室の推進

→「おびらっ子クラブ」の実施

#### 子ども読書活動の推進

→ブックスフェスティバルの実施

#### 小平町有形文化財の指定

→小平町第一号文化財の指定を推進

#### 生涯学習リーダーの養成

→平成20年度60名を目指します（現在47名）

### 小平町社会教育委員名簿

委員長	副委員長
塚田 芳雄	堀井 武道
木村 亜希子	土佐 誠一
石黒 朋幸	長谷川 勇恵
山本 敬子	加藤 弘子
半澤 豊秀	角谷 ヒサ子

### 小平町文化財審議会委員名簿

中原 貴	古川 忠治
運上 光彦	高津 政樹
山本 浩	

## 音楽愛好家達を魅了した「春風のララバイ」コンサート

4月24日(木)午後6時半から、小平町文化交流センター多目的ホールにおいて、サポーターズクラブの発足10周年記念公演の第一弾として、ボーカルの中西圭三さん、ジャズピアニストの宮本貴奈さん、篠笛(しのぶえ)奏者の狩野泰一さんの三人の競演による「春風のララバイコンサート」が開かれました。同コンサートは二部構成で行われ、第一部は宮本さんのピアノによる8曲、第二部は中西さんのヒットソングによる三人のアレンジで行われた。

童謡をモチーフにした楽曲では、悠久の流れを感じさせる狩野さんの篠笛と宮本さんのピアノが表現する里山の情景が、中西さんの歌声に乗ってさらに美しく表現され、来場者の感動をよんでいました。



## 旧花田家番屋クラシックコンサート

5月13日(火)午後6時半から重要文化財旧花田家番屋において、留萌市出身のフルート奏者佐藤こずえさんと札幌交響楽団のチェリスト文屋治実さんによる番屋コンサート「フルートとチェロの夕べ」が開かれました。コンサートは昔の鱈漁師の生活場である漁夫の居間をステージに、バッハやヘンデルなど有名な作曲家の曲と、口ボタ「月の光の物語」など七曲が演奏されました。

町内外から集まった130人のクラシックファンらは、重要文化財として歴史を語る番屋の空間に響き渡るフルートとチェロの美しい音色に酔いしれているようでした。



## おびらっ子クラブ「山菜採り体験」

5月17日(土)おびらっ子クラブ「山菜採り体験」が大楸地区の山林で行われ、生涯学習リーダーの高松憲雄さんと塚田芳雄さんを指導者に開催され、町内の小学生10名が参加しました。参加者は食べられる山菜について教えてもらいながら、フキ、アイヌネギ、ウドなどの山菜を次々に見つけて喜んでいました。

今年は、遅霜の影響で例年に比べ収穫は少なめでしたが、参加者達は、指導者の説明を受けながら自然の厳しささと豊かな恵みを実感しているようでした。

